



# 倉敷市

様々な事情により困窮している人が、

自立できるよう地域で支え合うまち倉敷

## ●生活困窮者自立支援事業の取り組み

平成27年4月の自立支援法施行に先立ち、モデル事業として、平成26年10月に自立相談支援機関を設置

## ●自立相談支援機関を核としたプラットフォームの構築

平成27年4月に支援体制構築のため、多様な関係機関と連携する場を設置（倉敷市生活困窮者自立支援調整会議）

くらしきせいかつじりつそつだんしえん

## 倉敷市生活自立相談支援センター

TEL: 086-427-1288

開館時間: 9:00~17:00 (土日祝日・年末年始は除く)

相談無料  
秘密厳守

**●お困りごとの解決を目指します**  
お仕事や、家計、生活にお困りの方の支援を行う窓口です。相談支援員が、寄り添う支援で解決を目指します。お気軽にご相談ください。

**●どんな支援が受けられますか？**

<p><b>就労支援</b></p>  <p>ハローワークへの同行などにより求職活動のきめ細かな支援を行います。</p>	<p><b>就労の準備</b></p>  <p>仕事に就くための準備段階から一人ひとりのペースに合わせてサポートします。</p>	<p><b>家計の改善</b></p>  <p>家計表の作成や、滞納の解消・債務整理に関する支援などを行います。</p>
<p><b>無料職業紹介</b></p>  <p>ご本人の希望やスキルに応じた職業をご紹介します。</p>	<p><b>住居確保給付金</b></p>  <p>就職等により、住居を失うおそれのある方などに、家賃の一部を支給します。 <small>※支給要件あり</small></p>	<p><b>各種制度関係機関のご紹介</b></p>  <p>各種制度・福祉サービスのご紹介や、関係機関等のご案内をします。</p>

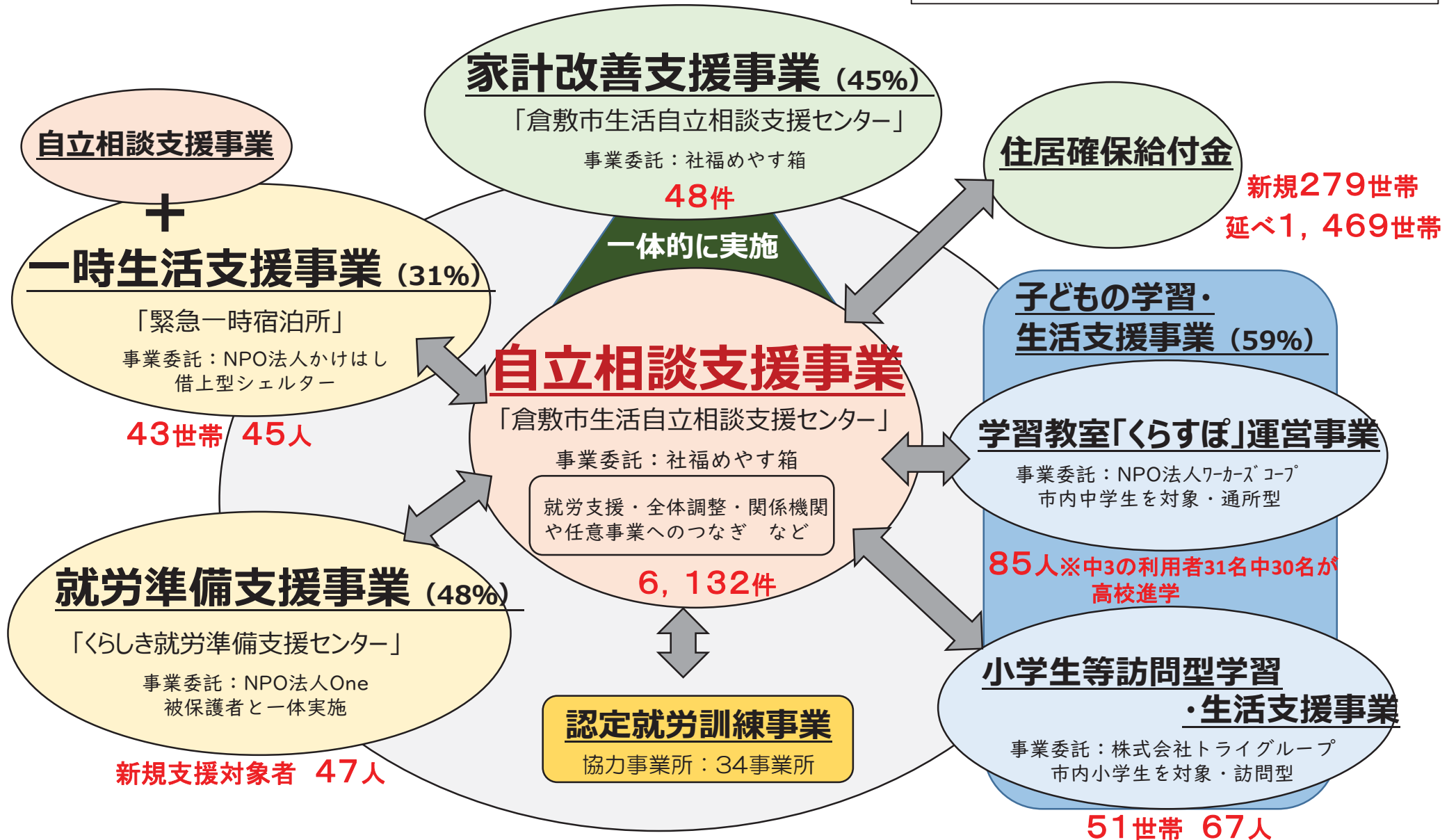
(ハローワーク倉敷中央)  
令和3年2月、就職氷河期  
専門相談窓口を開設



# 倉敷市の生活困窮者自立支援事業の概要

( ) : 平成30年度における任意事業の全国実施率

赤字 : 令和2年度相談件数・利用人数等



# 自立相談支援事業実績

(単位:件数)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	前年比
新規相談 受付件数	746	912	1,198	1,537	1,997	6,132	3.1倍
プラン 作成件数	284	510	602	774	1,243	2,186	1.8倍
就労支援 対象者数	162	266	279	327	659	1,570	2.4倍
就労・ 増収者数	97	149	140	254	327	636	1.9倍

★R2年度は、コロナ禍で生活困窮の相談が増加、**生活福祉資金貸付**に伴う相談で新規相談件数が**急増!**

## 支援調整会議

支援調整会議は、月1回定例会を開催するほか、個々のケースについて、個別の支援調整会議を月4回程度開催

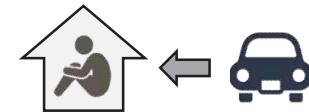
令和2年度支援調整会議の実績:特に支援を要する305件のケースについて支援調整を実施  
(このうち、**就職氷河期世代は約40%**)

# 倉敷市は生活困窮者の就労・自立に向けて、生活支援・就労支援の一層の充実に取り組みます

## ● ひきこもり状態にある方など、社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする方への支援の強化

- ・ 自立相談支援機関の人員増による体制強化

(自宅等アウトリーチ相談支援の実施、土曜日や時間外対応等の相談機会の充実)



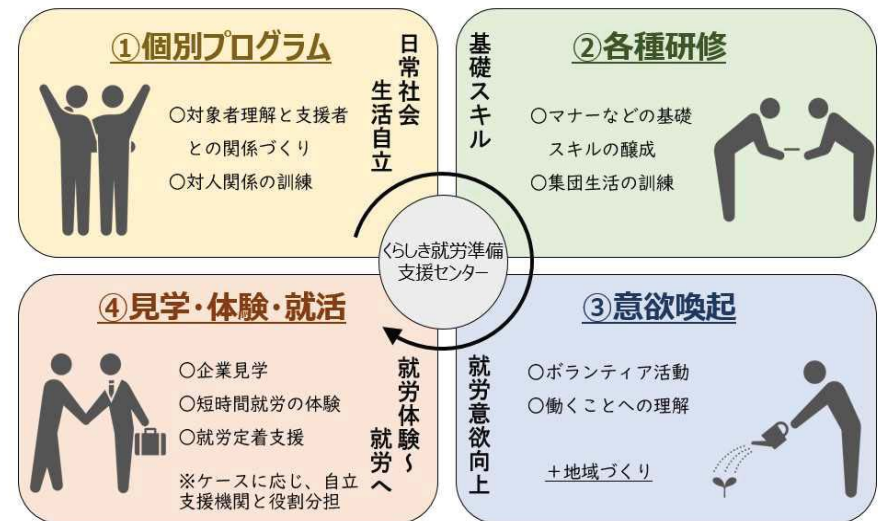
## ● ハローワーク・就労準備支援事業等と連携した就職から

定着までの一貫した支援の強化

## ● 貧困の連鎖を防ぐため、スクールソーシャルワーカー等との

連携（福祉と教育の連携）強化

## ● 就労準備支援事業 (本人のステージに合わせ、就職に向けた多様な支援を実施)



## 今後の取り組みに向けた国への要望など

## ● 生活困窮者支援事業の各事業の国補助の充実

(子どもの学習支援に係る補助率 (1/2) の引き上げ、アウトリーチ等に係る補助金の令和5年度以降の継続など)

## ● ハローワークの就職氷河期世代の相談窓口の拡充、

雇用の受け皿となる民間企業の求人開拓の強化

## ● ひきこもり支援に携わる人材の養成研修の充実

